

相馬地区沖合底びき網による宮城県沖操業

福島県水産海洋研究センター 海洋漁業部

1 部門名

水産業－資源管理－底びき網

2 担当者名

根本芳春・白土遼輝・寺本 航

3 要旨

相馬地区沖合底びき網漁船は、東日本大震災後、福島県沖のみで操業を行ってきたが、2023年漁期(9月～翌年6月)から宮城県所属の底びき網漁船と相互入会を開始した。相馬双葉漁業協同組合取りまとめの海域毎操業隻数と漁獲量及び操業日誌の曳網時間と漁獲量を整理した結果、2023年漁期は、宮城県沖での操業は福島県沖の操業に対して極めて少ないことが分かった。一方、2023年漁期においては、福島、宮城県沖のCPUE(単位時間当たりの漁獲量)には大きな差はないことから、漁場利用の課題となっている漁獲努力量の分散のためには操業域の拡大が望ましい。

- (1) 2023年漁期における水揚量の内、宮城県沖操業による水揚量は1.6%、操業隻数に占める割合は1.8%であった。
- (2) 操業日誌から曳網時間、漁獲量を集計し、CPUEを算出した結果、宮城県沖が231kg/h、福島県沖が246kg/hと大きな差はなかった。

表1 2023年漁期における宮城県沖操業実績

月	水揚量 (kg)			隻数		
	宮城県沖	福島県沖	計	宮城県沖	福島県沖	計
9月	0	369,702	369,702	0	264	264
10月	24,989	333,388	358,377	16	248	264
11月	5,074	279,707	284,780	7	239	246
12月	11,793	325,981	337,774	11	256	267
1月	0	170,911	170,911	0	172	172
2月	5,338	220,242	225,580	3	212	215
3月	1,011	223,860	224,871	1	181	182
4月	2,959	397,515	400,474	3	272	275
5月	0	389,606	389,606	0	226	226
6月	0	396,483	396,483	0	231	231
計	51,164	3,107,393	3,158,557	41	2,301	2,342
%	1.6	98.4	100.0	1.8	98.2	100.0

相馬双葉漁業協同組合提供資料
漁協が操業日誌を元に操業海域を仕分けたデータから集計

表2 2023年漁期における海域別曳網時間、漁獲量、CPUE

	宮城県沖	福島県沖	計
曳網時間 (h)	156	8,725	8,881
漁獲量 (kg)	35,967	2,142,457	2,178,424
CPUE (kg/h)	231	246	245

* 操業日誌の漁獲量記載があったもののみ集計

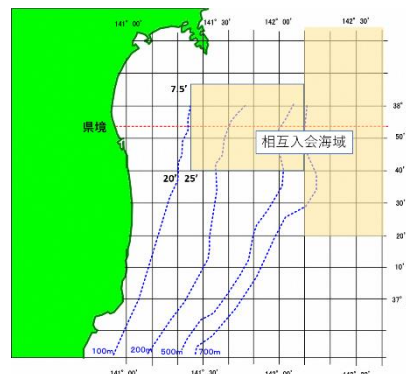


図1 2023年漁期の入会海域
相馬地区沖合底びき網福島県地域漁業復興計画より

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和3～7年度
- (2) 研究課題名 カレイ類資源管理手法の開発

5 主な参考文献・資料

- (1) 岩崎高資,2021 漁期の相双漁協沖合底びき網漁獲努力量とCPUE(単位努力量あたり漁獲量)の震災前との比較,令和4年度普及に移す成果,2022.